

研究課題名	食道腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術における誤嚥性肺炎についての検討
研究の意義・目的	早期消化管癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は、根治性の高い、低侵襲な治療として広く普及しています。上部消化管 ESD、特に表在型食道癌に対する ESD では術中に水分が口腔内に逆流することも多く、周術期に誤嚥性肺炎が発生することがあります。誤嚥性肺炎は時に重篤な経過を辿ることがありますが、食道 ESD における誤嚥性肺炎のリスク因子やその転帰についての検討はほとんどありません。それらを明らかにすることで、今後の内視鏡治療の発展に貢献できるものと考えます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~2030 年 3 月 31 日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2015 年 1 月~2024 年 12 月の間に、大阪公立大学医学部附属病院で食道腫瘍に対して ESD を施行された患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等： ・患者基本情報：年齢、性別、APA-PS、併存疾患、既往歴、抗血栓薬、喫煙歴 ・病変情報：存在部位、肉眼型、病変径、周在性、以前の ESD による瘢痕 ・病理組織診断：組織型、深達度 ・胸部レントゲン、CT 所見 ・その他：術者、鎮静剤、トラクション法、オーバーチューブの使用
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学 後期研究医 北川 大貴
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	※利益相反「なし」。本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 北川 大貴 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話 06-6645-3811、FAX 06-6645-3813 E-mail a21090n@omu.ac.jp